

令和7年度 静岡県教育研究会

研究大会実行委員長説明会

日時 令和6年12月12日（木）13：30～

13日（金）13：30～

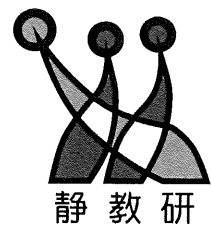
17日（火）13：30～

※都合のよい日に参加

会場 ZOOM による開催

参加者

各研究部 : 大会実行委員長
大会事務局長（希望者）
静教研事務局：事務局長・事務主任



次 第

- （1）静教研としての研究大会の考え方
- （2）夏季研究大会までのスケジュール
- （3）当面行うこと
- （4）質疑・応答

〈今後の連絡方法〉

静教研事務局 TEL 054-252-4575
FAX 054-252-4608
MAIL seikyoken@iris.ocn.ne.jp

令和7年度 大会実行委員長 / 事務局長 名簿(予定)

R6.11.29現在

| No. | 研究部 | 実行委員長 事務局長 | 担当 地域 | 所属校 | 職名 |
|-----|-----------|-----------------|----------|---------------------------|--------------|
| 1 | 国語 | 杉山 哲哉 伏見 佑介 | 静岡 | 静岡市立城山中学校 静岡市立新通小学校 | 校長 教諭 |
| 2 | 書写 | 高村 淳子 大石 明美 | 駿東 沼津 | 沼津市立浮島小学校 沼津市立原中学校 | 校長 教諭 |
| 3 | 社会 | 川端 紳之 藤井 将史 | 静岡 | 静岡市立清水船越小学校 静岡市立南中学校 | 校長 教諭 |
| 4 | 数学 | 田中 成人 森本 翔 | 富士 | 富士市立須津小学校 富士市立元吉原小学校 | 校長 教諭 |
| 5 | 理科 | 橋口 渉 | 静岡 | 静岡市立南中学校 | 校長 教諭 |
| 6 | 音楽 | 渡辺 英一郎 眞野 香織 | 駿東 沼津 | 清水町立清水中学校 沼津市立大平小学校 | 校長 教諭 |
| 7 | 美術 | 四條 秀樹 | 富士 | 富士市立伝法小学校 | 校長 教諭 |
| 8 | 保健体育 | 石原 克己 岡田 結一 | 富士 | 富士市立富士南小学校 富士市立伝法小学校 | 校長 教諭 |
| 9 | 技術 家庭科 | 池谷 仁 朝田 希美 | 磐周 湖西 | 磐田市立豊田南中学校 磐田市立神明中学校 | 校長 教諭 |
| 10 | 英語 | 宇津木 智如 原 美聡 | 三島 田方 | 三島市立東小学校 三島市立山田中学校 | 校長 教諭 |
| 11 | 生活科 総合 | 後藤 康仁 松本 美沙希 | 賀茂 東豆 | 伊藤市立大池小学校 伊東市立富戸小学校 | 校長 教諭 |
| 12 | 道徳 | 安原 正樹 江川 輝高 | 静岡 | 静岡市立竜爪中学校 静岡市立賤機南小学校 | 校長 教諭 |
| 13 | 特別活動 | 原田 利志美 | 駿東 沼津 | 裾野市立南小学校 | 校長 教諭 |
| 14 | 学校保健 | 佐藤 文宣 松本 美奈子 | 磐周 湖西 | 磐田市立磐田西小学校 磐田市立東部小学校 | 校長 養護教諭 |
| 15 | 学校 図書館 | 澤崎 忍 赤堀 智生 | 小笠 榛原 | 掛川市立桜木小学校 菊川市立菊川西中学校 | 校長 校長 |
| 16 | 情報 | 前原 一徳 浜田 陽平 | 富士 | 富士市立鷹岡中学校 富士市立田子浦中学校 | 校長 教諭 |
| 17 | 特別支援 | 皆川 尚之 岩田 康弘 | 三島 田方 | 三島市立北上小学校 三島市立南中学校 | 校長 教諭 |
| 18 | 生徒指導 | 山田 誓午 森 香織 | 志太 | 島田市立金谷小学校 島田市立六合小学校 | 校長 教諭 |
| 19 | 学校給食 | 重富 朋子 石本 実咲 | 志太 | 藤枝市立西益津小学校 焼津市立焼津中学校 | 校長 教諭 |
| 20 | 事務 | 白鳥 容孝 大石 智子 | 志太 | 牧之原市立榛原中学校 島田市立島田第二中学校 | 統括室長 事務主幹 |
| 21 | 小規模校 | 内山 春枝 山下 富士夫 | 小笠 榛原 | 掛川市立日坂小学校 川根本町立光の森学園 | 校長 校長 |

令和7年度 夏季研究大会の計画概要

令和6年11月29日現在

| 研究部 | | 開催方法 | 開催日・期間 | 会場 | 開催ブロック |
|-----|-------|---------------------|-------------------------|-----------------------------|--------|
| 1 | 国語 | 集合開催 | 8月6日(水) 終日 | 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ | 静岡 |
| 2 | 書写 | 集合開催・リアルタイム配信 | 8月6日(水) 午後 | 沼津教育会館 | 駿東・沼津 |
| 3 | 社会 | 集合開催 | 8月6日(水) 午前 | 静岡市立城内中学校 | 静岡 |
| 4 | 数学 | 集合開催 | 8月20日(水)終日 | 富士市交流プラザ 富士第一小・富士中 | 富士 |
| 5 | 理科 | 集合開催・オンデマンド配信 | 8月7日(木) 終日 | 静岡県男女共同参画センター あざれあ | 静岡 |
| 6 | 音楽 | 集合開催 | 8月6日(水) 終日 | 沼津市民文化センター | 駿東・沼津 |
| 7 | 美術 | 集合開催 | 8月7日(木) 終日 | 芝川文化ホール くれいどる芝楽 | 富士 |
| 8 | 保体 | 集合開催 | 8月7日(木) 終日 | 富士市文化会館 ロゼシアター | 富士 |
| 9 | 技術・家庭 | 集合開催 | 8月6日(水) 午後 | 磐田市立豊田南中学校 | 磐周・湖西 |
| 10 | 英語 | リアルタイム配信・集合開催 | 8月6日(水) 午前 | 韮山文化センター | 三島・田方 |
| 11 | 生活・総合 | リアルタイム配信・オンデマンド配信 | 8月6日(水) 午後 | 伊東市立宇佐美小学校 (配信) | 賀茂・東豆 |
| 12 | 道徳 | オンデマンド配信 | 8月1日(金)～22日(金) | 静岡市教育センター (録画) | 静岡 |
| 13 | 特別活動 | 集合開催・リアルタイム配信 | 8月6日(水) 午後 | 駿東地区教育会館 | 駿東・沼津 |
| 14 | 学校保健 | リアルタイム配信・集合開催(開催地区) | 8月7日(木) 午前 | 磐周教育研究所 | 磐周・湖西 |
| 15 | 学校図書館 | 集合開催 | 8月6日(水)午後～ 8月7日(木)終日 | 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ | 小笠・榛原 |
| 16 | 情報 | リアルタイム配信・集合開催 | 8月7日(木) 午前 | 富士教育会館 | 富士 |
| 17 | 特別支援 | 集合開催・オンデマンド配信 | 8月7日(木) 午前 | 三島市立北小学校 | 三島・田方 |
| 18 | 生徒指導 | 集合開催・オンデマンド配信 | 8月6日(水) 午後 | 島田市・プラザおおるり | 志太 |
| 19 | 学校給食 | 集合開催・オンデマンド配信 | 8月7日(木) 午後 | 藤枝市民ホールおかべ | 志太 |
| 20 | 事務 | リアルタイム配信・オンデマンド配信 | 8月6日(水) 午後 | 島田市立島田第四小学校 | 志太 |
| 21 | 小規模校 | オンデマンド配信 | 8月6日(水)～21日(木) | | 小笠・榛原 |

※上記は令和6年11月29日の時点での各研究部の予定であり、今後変更する場合があります。

◆令和7年度の夏季研究大会について

- ・数学教育研究部は、関東甲信静大会を兼ねて、学校図書館研究部は、東海地区大会を兼ねて開催します。

◆令和8年度の夏季研究大会について

- ・開催基準日は8月5日(水)、6日(木)です。
- ・英語教育研究部は、全国大会を兼ねて、11月20日(金)21日(土)に開催します。
- ・特別支援教育研究部は、東海北陸大会を兼ねて、8月6日(木)7日(金)に開催します。

2024 夏季研究大会を振り返って【抜粋】

三大事業の中心となる夏季研究大会を、8月7日（水）8日（木）を中心に21の研究部が開催しました。今年度は、集合開催が5研究部、配信による開催が8研究部、集合と配信のハイブリッドによる開催が8研究部で、オンデマンド配信の期間を長期に設定するなど、より「選択」できるようにしました。その結果、全会員の43.1%にあたる5,302名の会員が参加しました。また、21の大会で合わせて88本の実践発表がされました。どの実践も組織的に取り組んだ優れた研究が報告されました。また、会員からの期待の聲が高かった「協議の場」についても、13の研究部が位置づけ、熱心な協議が行われました。

開催にあたり、運営に携わった実行委員長を始めとする担当地区の皆様、研究に取り組んでくださった発表者・助言者の皆様、また猛暑の中、参加してくださった会員の皆様に、感謝いたします。

各研究部に寄せられたアンケートを、以下の3つの視点でまとめました。

1 研究発表・分科会

実践発表は、発表者のみならず各地区で組織的に研究に取り組んだ素晴らしいものばかりでした。各地区の教育研究が、静教研の基盤となっていることを再認識しました。参加された方々も、日々の実践にどう生かそうかという前向きな姿勢で臨んでいる姿が多くみられました。また、運営側も、「他地区の会員との協議や情報交換の場」を有意義なものにするために、①協議の視点を明確にする ②グループ編成を工夫する ③ブレイクアウトの機能を活用する、などの工夫が効果的でした。

2 講演会

各研究部が実施した講演会には、大変勉強になったという声が多く寄せられました。学習指導要領や生徒指導提要などに示されている内容を、専門的にかつ具体的にお話しいただいたことが好評でした。また、実践発表の内容に触れ、価値づけていただいた講話もあり、研究大会の一貫性をもたせるようにした大会もありました。今後も会員のニーズをとらえ満足度が高まる講演となることが望まれます。

3 運営面

各研究部で開催方法や運営を工夫したことで、参加者から、研究大会を評価する声を多くいただきました。多様な形式の大会があることが、夏季研究大会の「よさ」であると考えます。今後も大会を開催する地区が、規模や地理的な環境、研究部の特性を考えた方法を選び、運営を工夫することが求められています。さらに、今求められている研修観への転換を踏まえ、研修への期待感や満足度が高まるようにしたいと思います。

夏季研究大会への参加者もここ数年、毎年増加している傾向にあります。時間や旅費の負担を減らすために近隣の会場への参加やリアルタイムやオンデマンド配信の大会へ参加するといった会員も多くみられました。来年度も、さらに多くの会員の方に夏季研究大会へ参加していただくことを願っています。

《来年度に向けて会員の皆様へのお願い》

- 夏季研究大会は、会費を納めた会員の方のみが参加できる学びの場です。自身の専門性を高めたり、課題としていることを解決したりするために活用してください。どの大会にも、いくつでも参加できます。
- 年度初めにホームページで会員登録する際には、夏季研究大会の日程やテーマ、講師一覧が掲載されています。早めに管理職の先生に参加希望を伝えるなど、計画を立てるといいと思います。
- 例年、申込〆切後の問い合わせが多く、大会運営や準備に支障が出ています。申込期限の厳守をお願いします。〆切は、例年、7月中旬としています。
- 研究会の発表原稿や講演会の資料は、静教研HPの「研究部」のページに掲載します。また、各研究部の成果刊行物もHPに掲載されることが増えてきました。折を見てチェックしていただければ幸いです。

研究大会の計画を作成するために

1. 今年度の研究大会の特徴（傾向）

- ①開催方法が「多様化」されている。（集合開催・リアルタイム配信・オンデマンド配信）
- ②複数の参加方法を「選択」できるハイブリッド型の大会が増えている。
- ③会員からの期待の声が高い「協議の場」を設定する大会が増えている。
- ④運営しやすく、参加もしやすい「半日」開催が増えている。

2. 計画を作成する上で押さえておきたいこと

（1） 担当地区の状況を踏まえ、「主体的」に開催方法を設定することを大切にしたい。

- ・研究大会の担当地区は毎年変わる。地理的な環境、運営する地区の規模も違うため、前年と同じ方法で行うことを前提にするのではなく、担当地区が、どのような形で開催するのかを、「主体的」に考える。
- ・限られた条件（時間的、金銭的）の中で、すべての部員の要望をかなえることは難しいことである。研究部のねらいや課題、参加者の満足度の高まりに迫る上で、より効果的で最適の手立てとなる開催方法を選ぶ。
- ・運営方法を参考にする場合、同じ研究部で他地区が開催する大会より、他の研究部で同じ地区が開催する大会を視察することがいい場合もある。

（2） 研修への参加に「選択」できることを大事にしたい。

- ・静教研は、自身の教職員としての力量を高めるために自主的に研修へ参加できる組織であるため、参加方法を「選択」できることは大切にしたいことである。
- ・集合開催、リアルタイム配信、オンデマンド配信を複数組み合わせるハイブリッドの開催は、会員から大変好評であり、来年度も希望する声が多い。
- ・登録した所属の研究部以外のどの大会にも参加の「選択」ができること周知したい。裏返せば、運営する側もすべての会員を視野に考えてほしい。
- ・「国語」と「書写」と「学校図書館」や「技術・家庭科」と「情報」など、複数の研究部に参加したかったという声もあがっている。すべて調整できることはないと思うが、研究部間の連携も必要になる。

（3） 会員の期待の高い「参加型」の大会になるように工夫したい。

- ・研究大会に期待や関心の高い会員は、「参加型」の大会を希望している。
- ・集合開催でもリアルタイム配信でも、参加者の双方向による協議や情報交換の有無によって、満足度が変わる。
- ・オンデマンド配信で行う場合も、例えば中学校単位や市町、地域単位で集まって視聴するなど、どのようにしたら「参加型」にすることができるか、研究部内で検討したい。

（4）「半日」開催を目的にしない。

- ・ここ数年「半日」開催が増えてきてはいるが、夏季休業中に開催していること、各教育委員会教育長及び各学校長宛てに、夏季研究大会の基準日に行事を入れないことを依頼していることから、静教研として「半日」開催を推奨することはない。
- ・「一日」で開催していた内容を、「半日」で行うには、何かを切らなければならない。何を切るのか、何を大切にするのか、明確にする必要がある。

(5) 予算の裏付けをとってから、会場や講師を押さえる。

例年、準備を始めてから、予算が足りなくて困るといった声が聞かれる。会場及び講師選定、配信業者の選定など、まず予算化し、裏付けをとってから始めたい。

①会場

- ・ 集合開催の場合、当日の参加予定数や分科会数を把握し、見合った会場を選定する。
- ・ ここ数年空調設備や配信設備が整ってきたため、学校を会場に設定することも増えてきたが、任意団体である静教研の研究大会が、目的外使用にあたらないかを確認し、もしその場合は、各市町のルールに沿った事務手続きをする。
- ・ 従来行っていた会場借料の補助は、令和7年度から実施しない。但し、上位団体を兼ねる大会への補助を10万円増額する。

②配信

- ・ 配信を行う際は、自前で行おうとしないで、早めに業者を選定し、準備を進める。
- ・ 大型会場を使用しなければ、業者に支払う分の予算は充分ある。
- ・ 学校や市の施設の配信設備も、目的外使用にあたらないか確認する。

③講師

- ・ 講師の謝金については、規定を参照し、依頼するときに伝えておく。
(講師謝金：県外講師は8万円以内、県内講師は5万円以内)
- ・ 交通費については、実費を支払うことになっている
- ・ 宿泊については、原則としては想定していない。

④運営役員の旅費

- ・ 学校配当旅費の削減の状況は、今後も継続すると思われる。同じように、静教研の予算も学校数や教職員数の減少に伴う収入減や物価高に伴う支出増の傾向にある。
- ・ そうした状況から、令和7年度の研究大会の主要役員の旅費は、以下のように考える。

①会員が夏季研究大会へ参加するための旅費については、従来どおり学校負担を原則とする。

②その上で、研究大会を開催するに当たって必要となる運営役員の旅費については、所属する学校長の希望に応じて、部費から負担してもよいこととする。

③②に示した運営役員は次の役員とする。

1. 研究部長
2. 大会実行委員長
3. 事務長
4. 大会事務局長
5. 会計担当
6. 実践発表者
7. 分科会司会者
8. 助言者
9. その他部長が必要と認める役員 (全体会の登壇者や分科会でのICT担当者等)

研究大会までのスケジュール

| | 静教研事務局の取組 | 研究部の取組 | 実行委員会の取組 |
|-------|---|--|--|
| 12月まで | 静教研だより1月号の編集 関係諸団体への日程連絡 HPへのアップ R7大会実行委員長説明会 (12/12～16) ・スケジュールの確認 | 第2回○○部委員研修会 ・夏季研究大会の概要の検討 ・夏季研究大会の概要の報告 | 第2回○○部委員研修会 ・R7研究大会の概要の提案 R7大会実行委員長説明会 (12/12～16) ・予算案及び要項の作成 |
| 1月 | 第3回研究部代表者研修会 (1/29 PM) | 第3回研究部代表者研修会 (1/29 PM) ・R7各研究部の事業計画作成 ・R7各研究部の予算計画作成 | |
| 2月 | | 第3回○○研究部委員研修会 ・予算案及び要項の検討 | 第3回○○研究部委員研修会 ・予算案及び要項の提案 |
| 3月 | | ・R7研究部組織報告 ・要項の提出 (決まっていないものは、未定とする) | ・要項の提出 (決まっていないものは、未定とする) |
| 4月 | 県教委に後援申請 会員募集 ※ポスター掲示 HPへの会員登録 (4月初～5月初) | HP管理ページのマニュアル取得 ・研究部の記事のアップ ・会員登録の状況を入力 | HP管理ページのマニュアル取得 ・研究部の記事のアップ ・会員登録の状況を入力 |
| 5月 | 静教研だより6月号編集 | 第1回○○部委員研修会 ・夏季研究大会の詳細案検討 | 第1回○○部委員研修会 ・夏季研究大会の詳細案提案 ・要項をHPにアップする |
| 6月 | 第1回研究部代表者研修会 (6/3 AM) 夏季大会事前説明会 (6/3 PM) ・当日までの準備や諸注意 研究部代表委員 (会計) 研修会 | 第1回研究部代表者研修会 (6/3 AM) 夏季大会事前説明会 (6/3 PM) | 夏季大会事前説明会 (6/3 PM) ・大会準備 |
| 7月 | HPにて参加申込 (～7月初) | | ・参加者の掌握 |
| 8月 | 夏季研究大会 静教研だより9月号の編集 | 夏季研究大会 | 夏季研究大会 ・大会報告 (8/25頃まで) ※数学を除く |

当面行うこと 1 研究大会予算の立案

各研究部では、第2回委員研修会で提示されたR7研究部予算額をもとに、第3回委員研修会で研究部予算案を検討する。そこで、R7研究大会にどれだけの予算が必要か、この時期に立案する必要がある。

| | 科 目 | 予 算 額 | 積 算 内 容 |
|------------|---------|-------|----------------|
| A 研究大会費 | 1 謝金 | | 講 師 円 × 人 |
| | 2 旅費 | | 講 師 円 × 人 |
| | | | 役員旅費 円 |
| | 3 借料・損料 | | 会場借料 |
| | | | 配信業者損料 |
| | 4 資料費 | | |
| | 5 通信運搬費 | | 郵送料・振込手数料 |
| | 6 賃金 | | |
| | 7 需用費 | | 消耗品・通帳(大会)手数料等 |
| | 小 計 | 0 | |

(1) 講師謝金及び旅費

- ・講師謝金の上限額を県外講師は8万円以内、県内講師は5万円以内（いずれも税込）とする。
- ・講師謝金は「本研究会の内規で、税込で8万円以内（県内は5万円以内）となっている。交通費は別途で実費を支払う。」という言い方で、先方に理解してもらう。
- ・旅費は実費を支払う。（謝礼分を上乗せして支払うと、報酬として課税対象になる。）
- ・宿泊費については想定していないため、必要となる場合は事務局に相談する。

(2) 会員以外の助言者への謝金

- ・会員以外の助言者の謝金の上限額は1万円とする。交通費は別途で実費を支払う。
- ・指導主事には謝金を支払わない。ただし、2千円を上限に手土産の用意は可とする。（その場合は店の領収書が必要。この場合は7 需用費に計上）

(3) 大会主要役員の旅費

- ・令和7年度の研究大会の主要役員の旅費は、以下のように考える。
 - ①会員が夏季研究大会へ参加するための旅費については、従来どおり学校負担を原則とする。
 - ②その上で、研究大会を開催するに当たって必要となる運営役員の旅費については、所属する学校長の希望に応じて、部費から負担してもよいこととする。
 - ③②に示した運営役員は次の役員とする。
 1. 研究部長
 2. 大会実行委員長
 3. 事務長
 4. 大会事務局長
 5. 会計担当
 6. 実践発表者
 7. 分科会司会者
 8. 助言者
 9. その他部長が必要と認める役員（全体会の登壇者や分科会でのICT担当者等）
- ・要望のあった学校については、令和6年度と同様の手順で、各研究部で旅費額（県や政令市の算出基準）を調べ、研究部費から支出する。

(4) 会場借料

- ・会場借料とは、会場費及び機器、空調使用料をすべて含める。(会場に支払う金額)
- ・学校を会場とする場合は、計上しない。但し、使用するにあたり実費がかかる場合は、7 需用費で支出する。

(5) 配信業者損料 ※昨年は、通信運搬費に計上していたが、変更する。

- ・リアルタイム及びオンデマンド配信にあたり、かかる費用を計上する。(配信業者に支払う金額)

(6) 資料代

- ・「資料代」「原稿作成費」等の名前に変えての発表者・助言者に対する支払いは行わない。
- ・発表や助言に必要な書籍等を購入した場合は、「資料代」として5千円を上限に実費を支払う。(その場合は書店等の領収書が必要)

(7) 通信運搬費

- ・研究大会に関わる郵送代(宅配便を含む)及び振込手数料

(8) 需要費

- ・昼食の用意の対象は以下の来賓・講師・助言者で、一人1,000円程度とする。
来賓…開催地域の教育長、講師…講演会の講師・助手 ※昼食が必要な場合のみ
助言者…会員・会員外を問わず分科会の助言者全員
- ・研究大会に関わる事務用品代
- ・通帳(大会)手数料、両替手数料

※科目間の予算流用は「30%以内」を原則としている。

当面行うこと 2 大会案内の作成

各研究大会の後援申請を、年度初めに一括して静教研事務局が静岡県教育委員会事務局に、申請する。その際、案内へのどのように記載されるかを確認するために「大会案内」を持参する必要がある。

よって、年度末に大会案内（仮）を事務局に提出する必要がある。

夏季研究大会案内の書式・記載事項

令和7年6月16日

関係所属長様
各小・中学校長様
義務教育学校長様
各研究部員様

2段目は「各小・中学校長様」で統一

開催方法に関係なく、どの研究部も大会案内を作成し、HPを通して部員への周知を図る。
書式はこのページを参考に研究部で判断する。

静岡県教育研究会会長 室伏 伸明
同 ○○ 研究部部長 ○○ ○○
同研究大会実行委員長 ○○ ○○

静岡県教育研究会○○研究部夏季研究大会のご案内

- 1 方法 集合開催・リアルタイム配信・オンデマンド配信 等
- 2 期 日 令和7年8月○日（ ）
- 3 会 場 例（集合開催の場合） ○○市○○会館
例（リアルタイム配信の場合） 各学校（配信会場）○○市○○会館
例（オンデマンド配信の場合） 各学校（録画会場）○○市○○会館 8/○
- 4 主 催 静岡県教育研究会・同○○研究部
- 5 後 援 静岡県教育委員会・○○（市・町）教育委員会・○○市町○○研究会
※県教委の後援名義は事務局が一括して依頼する。
※各地教委等の後援名義が必要な場合は、各研究部で依頼する。
- 6 研究主題 「○○○○○○○○○○○○○○○○」
- 7 日 程 ※大会の終了時刻は16:00または16:00以降で記載する。
- 8 講 演 「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○」
講師 ○○ ○○ 氏（○○大学○○学部教授）
- 9 分 科 会 研究テーマ・発表者・司会者・助言者 等

10 参加申込 静教研ホームページで、令和7年6月16日(月)から7月11日(金)の間に行う。

※参加申込は、静教研ホームページへの「会員登録」が必要になります。
詳細は「静教研だより6月号 N0134号」の6ページで確認願います。

11 会場案内図 ※最新の見やすい地図を掲載する。

この文章を記載する

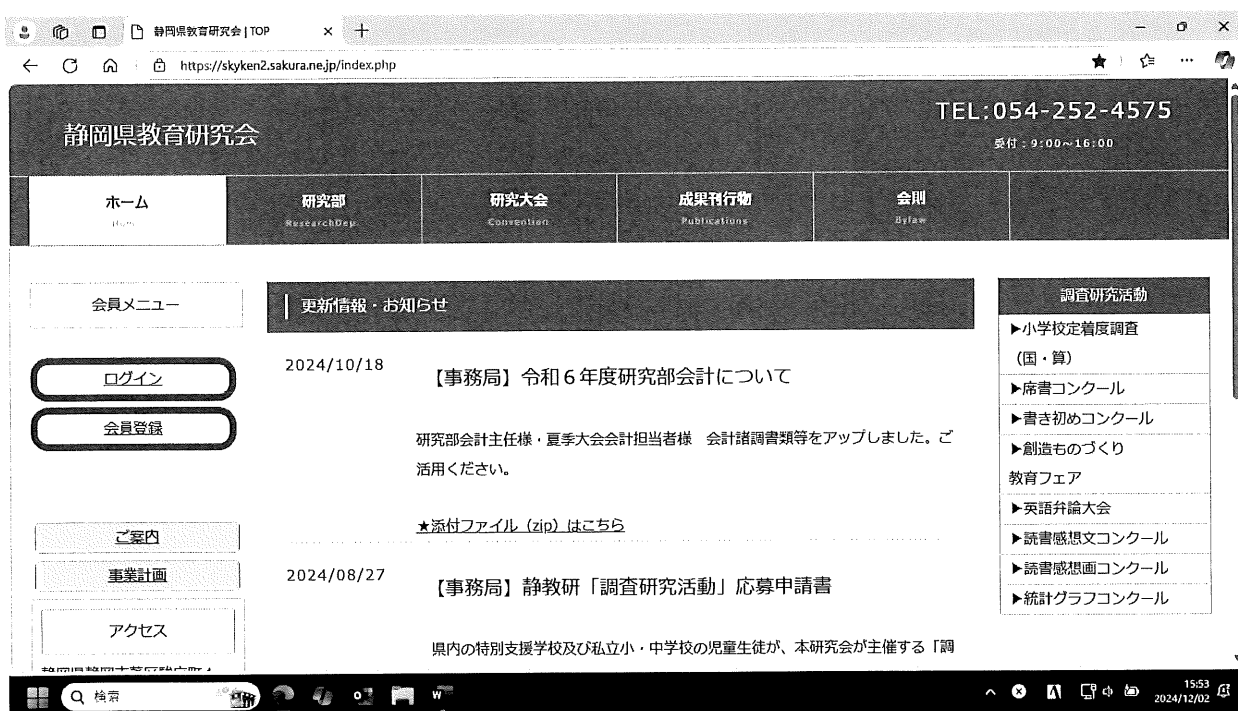
12 その他

- ・開催方法や内容の変更、参加にあたっての追加連絡等は、すべて「静教研ホームページ」に掲載しますので、各自で確認願います。
- ・大会の当日、記録係が撮影した写真を成果刊行物等に利用することがあることをご了承ください。(ホームページには掲載しません)

13 問い合わせ 大会事務局長 ○○ ○○ (○○市立○○○学校 教諭)
TEL FAX メール など(すべてのせなくてよい)

※研究部長の決裁を受けて、3月末日までに、メールで静教研事務局に提出する

当面行うこと 3 静教研ホームページの確認



研究大会 → 案内の掲載 ・ 参加申込

研究部 → 発表資料等の掲載

※他の研究部のページも参考にしてください。